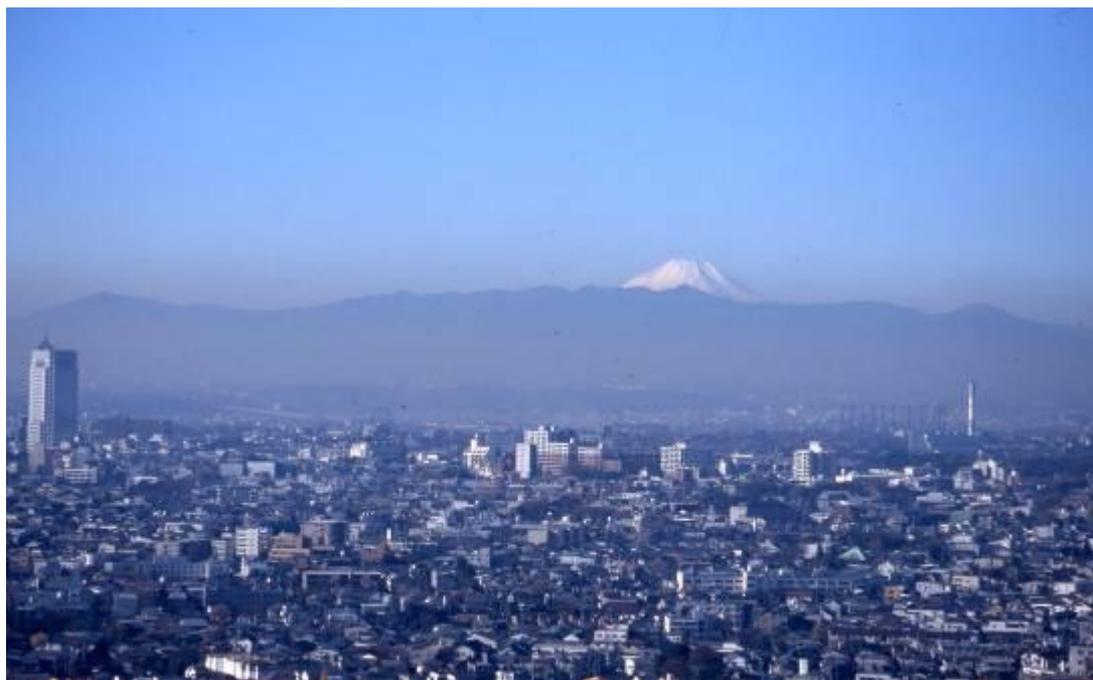


世田谷区における電力自由化への取組み



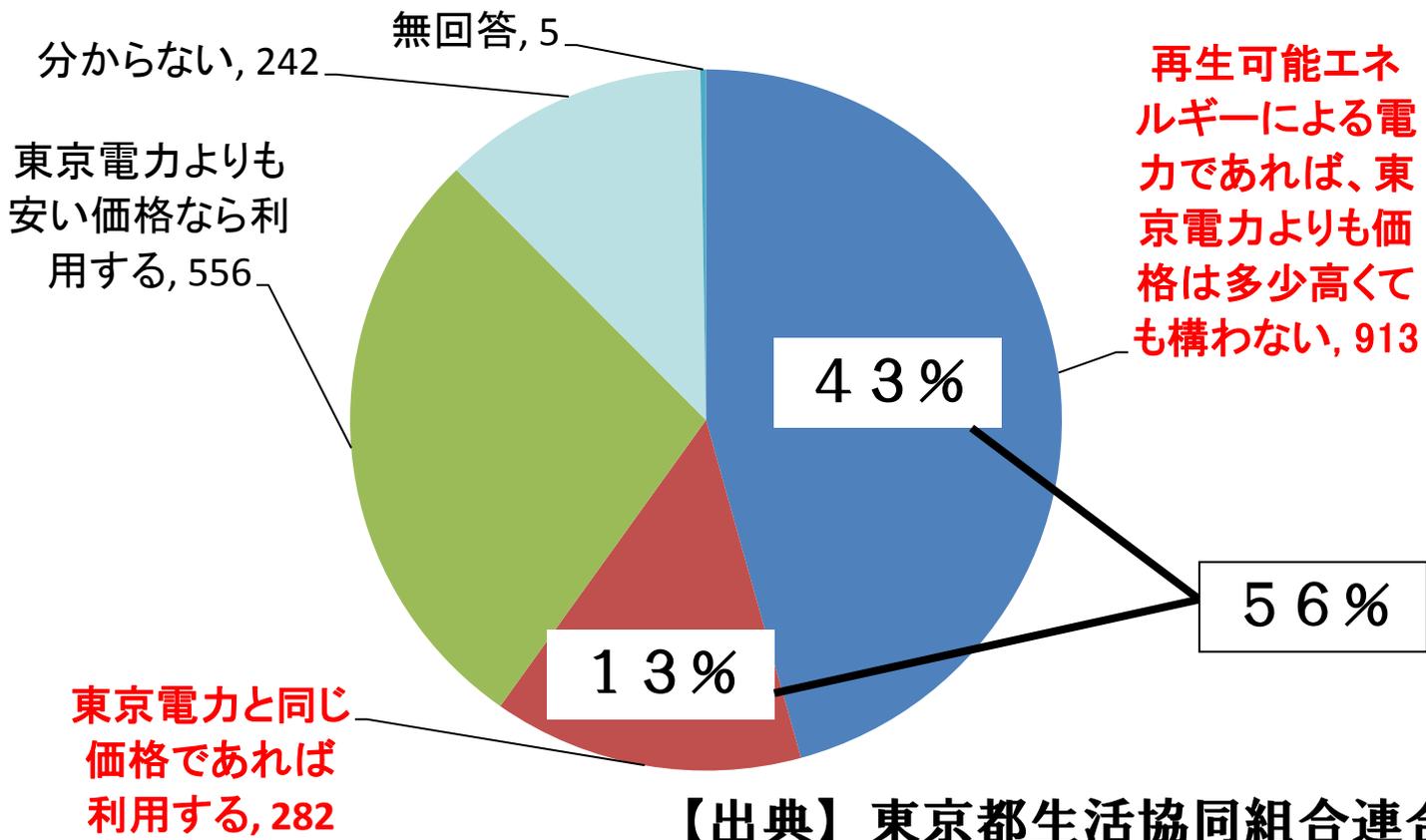
世田谷区長
Mayor of Setagaya

保坂 のぶと
Hosaka Nobuto

<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/>

電力自由化とエネルギー政策に関するアンケート

近い将来に、電力会社を自由に選んで電気を購入できる制度となった場合、価格について、どのように考えますか？



【出典】東京都生活協同組合連合会

電力自由化へ② 国との具体的な話し合い



枝野経済産業大臣（当時）と2回にわたり電力制度改革の促進について話し合い

話し合いのポイント

電力小売自由化の制度設計

電力の自由化の制度設計にあたって、消費者が価格だけでなく、電力の「質」を選択できる市場環境の整備

新電力(PPS)の競争環境の整備

日本卸電力取引所の取引拡大、託送料金の適正化など、電気事業者の競争環境の整備

先行モデル実施などの実験

電力自由化への先鞭をつける地域エネルギー政策を実現するための、法的・制度的環境の整備

電力全面自由化の実現へ

電力、消費者が選ぶ

改正電事法成立16年小売り自由化

多様な業種にビジネスチャンス	
住設設計	エプロウェブで大手電力の電気料金比較サービスを提供。自由化後は新電力も納題予定
ネット	楽天集合住宅に割安に電力供給する会社と組み、節電した個人に買い物ポイントを付与
情報	NEC新電力向けの需要拡大をにらみ、蓄電池事業を強化
通信	ソフトバンク携帯電話などのセット割引を検討。再生可能エネルギーなどを活用した電力を販売
住宅	ミサワホーム自社の住宅購入者に電気も販売。太陽光発電所を増設して供給力を確保
小売り	日本生活協同組合連合会物流施設で太陽光発電システムを運営。組合員などへの電力販売を検討
ガス	東京ガス現状200万キロワットの発電能力を20年度までに最大500万キロワットに。ガスとセット販売を予定
石油	JX日鉱日石エネルギー発電能力を30年までに現在の3倍の400万キロワットに。ガソリンスタンドを販売窓口
電力	中部電力新電力を買収して首都圏に進出。エリア外にも火力発電所を建設

7兆円市場、企業争奪

携帯とセット割引 料金比較サイト

電力販売が本格的な自由競争時代を迎える。電力小売りを2016年に全面自由化する電気事業法改正案が11日、参院本会議で可決、成立した。現在、一般家庭は地域の電力会社からしか電気を買えないが、16年以降は価格や付加サービスを判断基準に消費者が「選ぶ時代」に入る。新規ビジネスの創出も期待され、市場規模は7兆円を超える。通信や住宅、流通など異業種が入り乱れた顧客争奪戦が始まる。

改正電事法では、一般と小口利用者（契約電力規制がなくなる。00年以降）と小規模な事業者（50kVA未満）向けに参入障壁を下げ、電力小売りは段階的に自由化され、すでに大口利用者は10電力以外から電気を買う。全面自由化で、1990年代初頭から続く大手電力による地域独占が崩れる。今回、自由化の効果が、新電力は余剰電力が有効活用やスリムな経営体制で、大手より1割

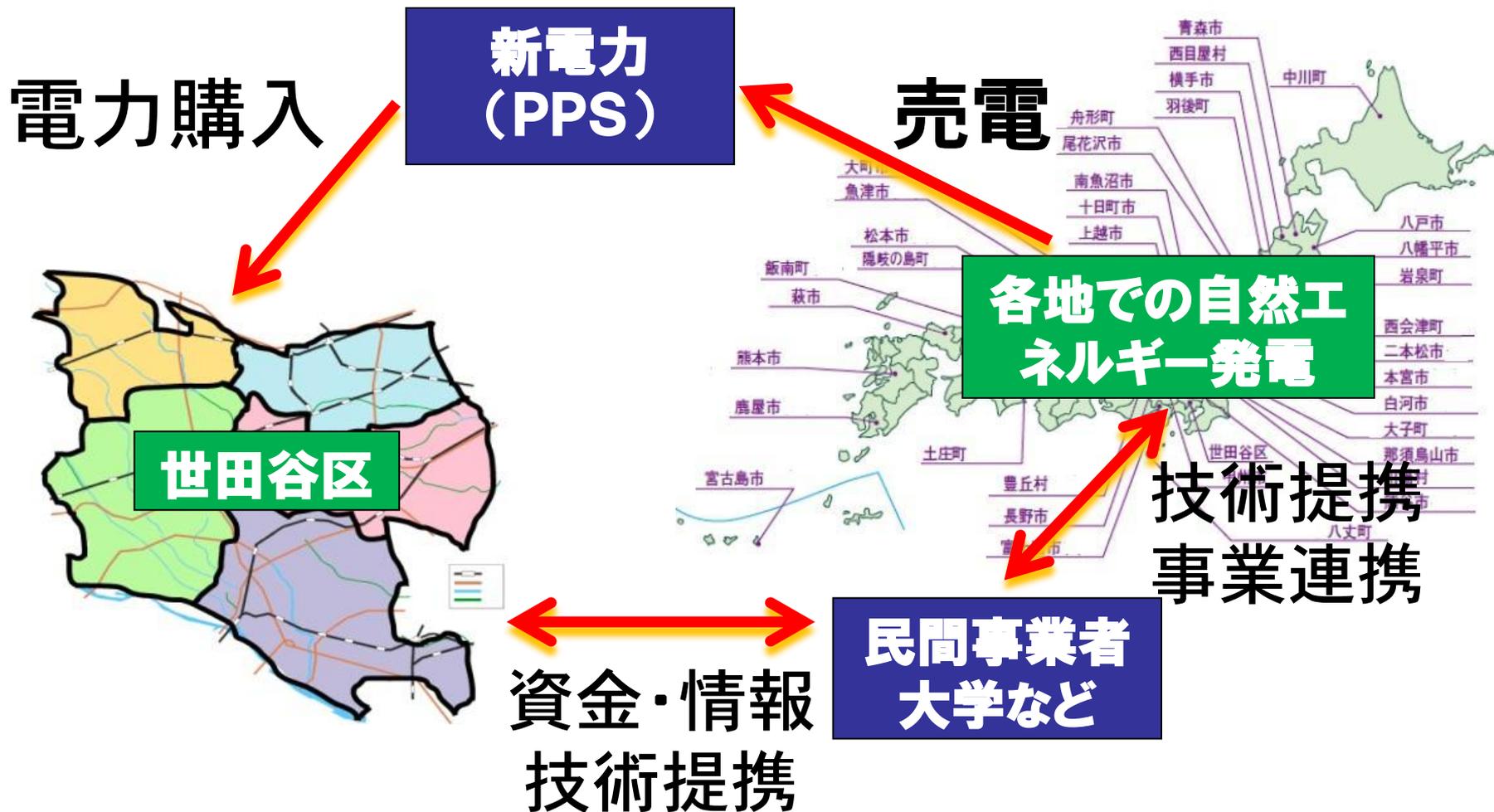
市場規模は10電力の合計で7・5兆円に上る。ヤマーの13年の国内生産（GDP）を3割超える規模だ。

有望市場の「開放」に加え、電力事業に参入した企業数は244（11日現在）と、昨年1月から一気に3倍に増えた。東日本大震災以降、電力料金は上昇しているが、新電力は余剰電力

電気事業法が改正

一般家庭でも
電力の購入先を
自由に選べる時代に
(2016年4月)

電力自由化による可能性の広がり



交流自治体との連携で再生可能エネルギーの利用を拡大

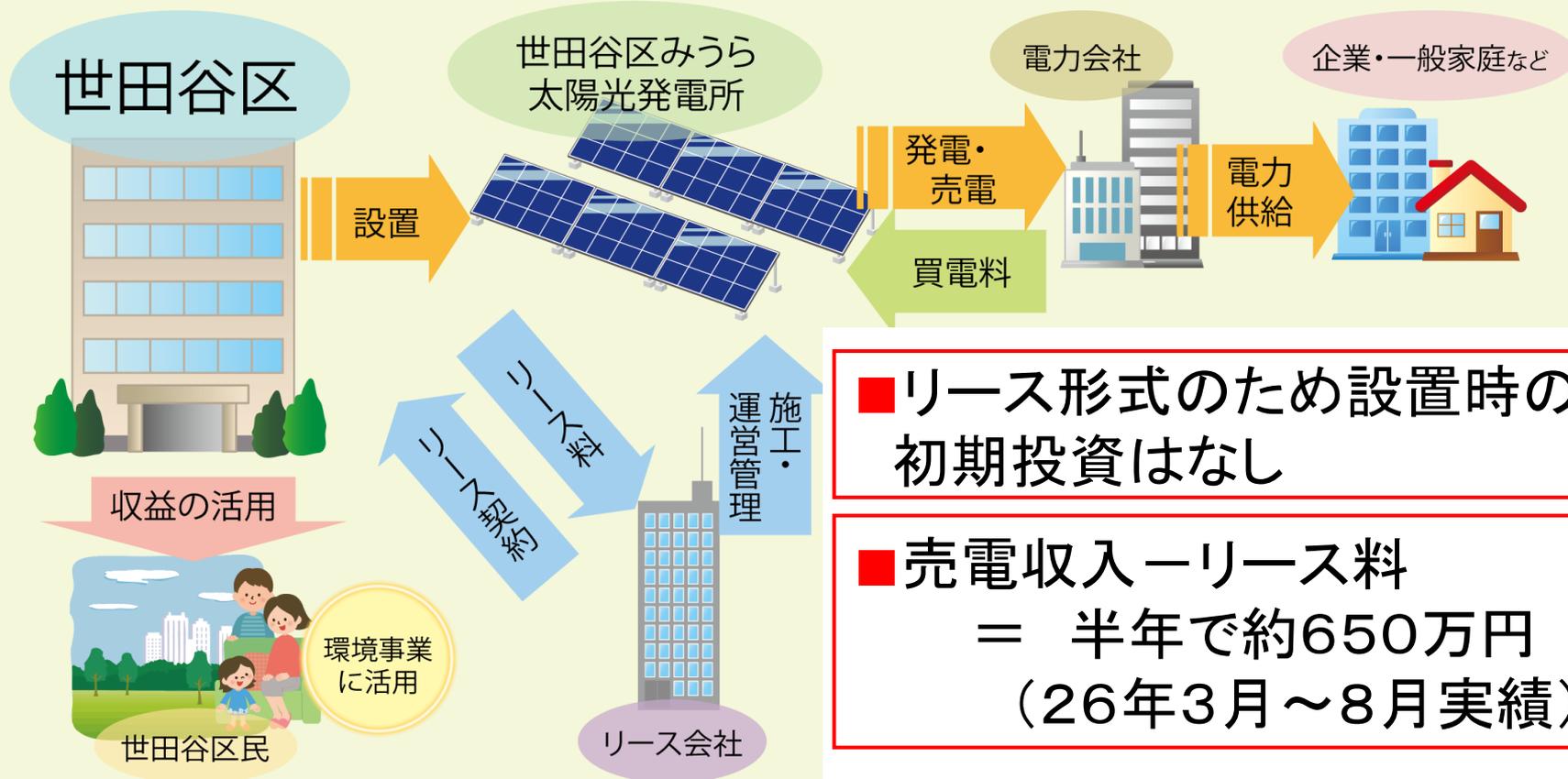
みうら太陽光発電所（H26. 3. 1開設）



■ 神奈川県三浦市の区有地に
区直営の太陽光発電所を設置

■ 三浦市に災害等が発生した場合、
みうら太陽光発電所を一時避難所として使用したり、
発電した電気を非常用電源として提供したりする協定を締結。

みうら太陽光発電所の事業手法



■リース形式のため設置時の初期投資はなし

■売電収入ーリース料
= 半年で約650万円
(26年3月～8月実績)

資金力の少ない自治体でも活用可能な事業スキーム

注目の新技術（水素エネルギー）

デンマークでの水素活用の社会実験

- ① 再生可能エネルギー（風車）による発電
- ② その余剰電力を用いて「水」を電気分解し、「水素」を生成
- ③ 専用管を用いて供給された「水素」を原料に各家庭で発電
(発電時に排出されるのは「水」だけ)



風力発電



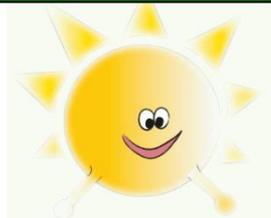
水を電気分解し、
水素を生成



水素を原料に
各家庭で発電

燃料電池（水素）を活用した地域でのエネルギー循環

究極の地域分散型発電



太陽光
(電気)

燃料電池
(水素)



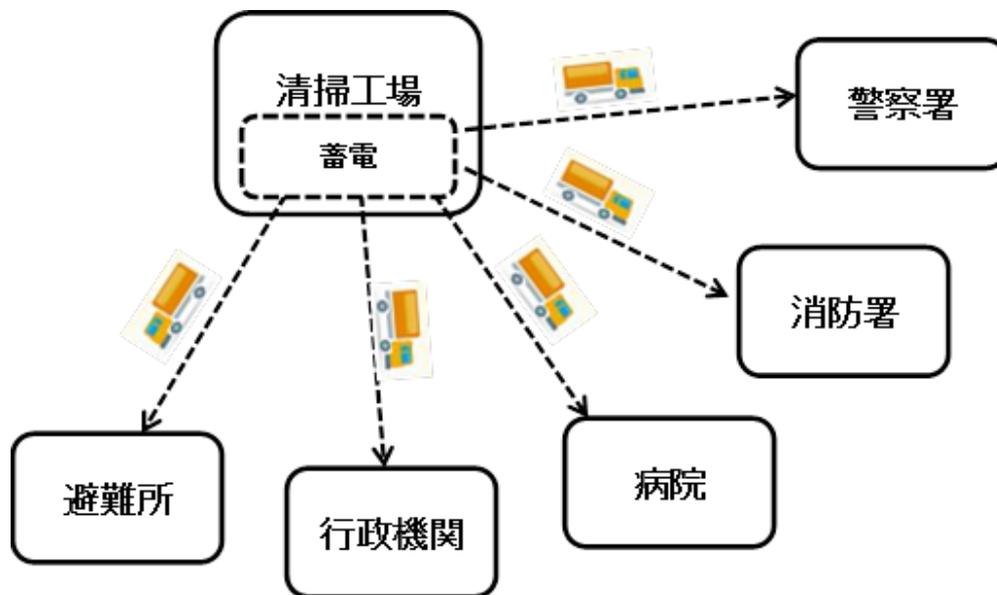
屋根発電



ベランダ発電

住宅の屋根・ベランダで発電した電気を、各家庭の燃料電池(水素)で蓄電

ごみ発電の地域活用



ごみ焼却熱を活用して発電した電気を、燃料電池として備蓄し、災害時に避難所等で活用

世田谷からの情報発信

- 10月28日(火) (会場:世田谷産業プラザ【三軒茶屋】)

「エネルギー革命最前線

～水素・燃料電池新時代と電力自由化」

燃料電池車の発売を控え、家庭用燃料電池の将来像などを視野に、経済産業省、トヨタ自動車、川崎市長などを招いたセミナー【主催:世田谷新電力研究会 有料 要事前申込】

- 12月6日(土) (会場:三軒茶屋ふれあい広場)

「エネ・フェス世田谷2014」

水素の活用や、太陽光発電のアイテムなどを広く知ってもらうためのイベントやコンクール、環境優良事業所の表彰を実施(みうら太陽光発電所の売電収益を活用して実施)